

## ユリナ

## N5 足捌き

現在の間合が3以上ならば、間合 $\downarrow$ ダスト

## トコヨ

## N1 梶流し

$\downarrow 1/1$  4

【常時】境地一あなたの集中力が2でないならば、このカードは使用できない。

## N2 雅打ち

$\downarrow 2/1$  2 3

【常時】境地一あなたの集中力が2ならば、対応した切札でない《攻撃》を打ち消す。

## N6 点睛

△4 隙 [破棄時]「適正距離2-3、-/1 【常時】この《攻撃》は対応されない」の《攻撃》を行う。

## オボロ

## N4 忍歩

設置 以下の2つを任意の順で行う。

- ・自フレア $\downarrow$ 間合
  - ・このカードを伏せ札から使用したならば、設置を持つ《攻撃》カード1枚を伏せ札から使用してもよい。その《攻撃》は対応されない。
- その後、このカードを伏せ札にする。

## シンラ

## N1 立論

$\downarrow 1/0$  2 3 4 5 6 7

【攻撃後】相手の山札が2枚以上あるならば、相手の山札の上から2枚を伏せ札にする。そうでないならば、相手のオーラに2ダメージを与える。

## N6 抗弁

△5 【展開中】各ターンで使用される2枚目以降の《攻撃》カードによる《攻撃》は-1/+0となる。

## ハガネ

## N5 円舞錬

遺心 相手のフレアに3つ以上の桜花結晶があるならば、相フレア $\downarrow$ 自オーラ

## N7 引力場

△4 [展開時] 間合 $\downarrow$ 自フレア  
[破棄時] 自フレア $\downarrow$ 間合

## チカゲ

## N1 飛苦無

$\downarrow 2/1$  3 4 5

## N2 毒針

$\downarrow 1/1$  5

【攻撃後】毒袋から「麻痺毒」「幻覚毒」「弛緩毒」のいずれか1枚を選び、そのカードを相手の山札の一一番上に置く。

## S3 流転の霞毒

$\downarrow 1/1$  3 4 5 6 7

再起：あなたの終了フェイズに相手の手札が2枚以上あるならば、このカードを未使用に戻す。

## クルル

## N6 もじゅるー

△3 【展開中】あなたが《行動》カードを使用した時、その解決後に基本動作を1回行ってもよい。

## ウツロ

## N3 廉の左手

$\downarrow 1/1$  4 5 6 7

【攻撃後】相手がこの《攻撃》によるダメージでオーラへのダメージを選んだならば、相フレア $\downarrow$ ダスト

## N7 遺灰呪

△2 [展開時] 相オーラ $\downarrow$ ダスト  
[破棄時] 灰塵-ダストに8個以上の桜花結晶があるならば、ダスト $\downarrow$ 相オーラ、相ライフ $\downarrow$ ダスト

## ホノカ

## N1Ex1 守護靈式

$\downarrow 2/1$  2 3

【攻撃後】このカードを対応で使用したならば、ダスト $\downarrow$ 自オーラ

【攻撃後】開花一この「守護靈式」をあなたの追加札にある「突撃靈式」と交換してもよい。さらに、それを山札の底に置いててもよい。

## N3 義旗共振

$\downarrow 2/2$  3 4 5 6 7 8 9

【攻撃後】あなたの捨て札にある他のメガミの《全力》でないカード1枚を選ぶ。それを使っても良い。

## S3 そして四季は廻る

△3 あなたは手札を全て伏せ札にする。  
山札を再構成する。カードを2枚引く。  
現在のフェイズを終了する。

この用紙は2016年12月発売の『桜降る代に決闘を第二幕』から、2018年2月までにかけて、調整が行われた全てのカードをまとめたものです。もし調整前のカードでゲームを行っている場合、事前の合意がない限りは本用紙の内容に読み替えて適用してください。大会においては、本用紙の内容は必ず適用されます。

調整内容によってはカードそのものが変化していることがあります。その場合、同じ番号のカードを別名のカードとして読み替えてください。

## 2017/03 チカゲの問題を解決するための調整

「飛苦無」「毒針」「流転の霞毒」

## 2017/08 全国大会結果を踏まえたバランス調整

「足捌き」「雅打ち」

## 2017/10 第二幕決定版に伴う問題解決と上方修正

「梶流し」「点睛」「忍歩」「立論」「円舞錬」「引力場」「もじゅるー」

## 2017/12 第参拡張全般の問題解決のための発売前調整

「廉の左手」「遺灰呪」「守護靈式」「義旗共振」

「そして四季は廻る」

## 2018/02 問題のあるデッキ1種を修正するための調整

「そして四季は廻る」